

# シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE  
75

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくり」との意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



● 小出陽子 (Yoko KOIDE)  
● 1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO: アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を開始。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。  
● JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

## MoiMoi Life in Siem Reap Teachers needed! Bayon junior-high school faces a harsh reality.

Some 300 students attend Bayon junior-high school. There is no precedent that such a high number of students enrolling to a new school in a rural area.

Our students shared their positive thoughts toward the school. Testimonials from students: great teachers and helpful special curriculums, enjoyable school life with other students, no financial burden due to free supplies.

Many students, who gave up education due to financial reasons or attended a distant school, hope to enroll to our school. Thanks to the support network, a new school building will be completed soon.

Yet, we have been struggling to find teachers who wish to work in this area. Five capable teachers had to teach all subjects for the whole school day after day. Although now we have part-time teachers, this has revealed the difficulty of school operation especially retaining skilled people.

## 教師がいらない？危機に直面するバイヨン中学校

アンコールの都の西北に一昨年創設されたバイヨン中学校には、現在、2学年合わせて300人が通っています。州の教育関係者によれば、開校早々これだけの人数の生徒が入学するのは、カンボジア農村部の中学校としては前例がないとのこと。地域の子供たちの学校に対する期待の高さがうかがえます。

今年度進級した中学2年生にバイヨン中学校の感想を尋ねたところ、先生の教え方がよく授業がわかり易い、支援者による特別授業のほか、日本語やパソコン授業等があり、様々なことを学べるので立派な大人になれそう、生徒は皆で協力し仲良く生活しているので毎日が楽しい、靴やノートなどの支援物資が届くのでお金がかからない、教室やトイレがきれい環境がよい、きれいな水が飲める、規則がきちんと守られている等々、生徒たちは校長や支援者の思いをしっかりと受け止め、勉学に励んでいることがわかりました。進級時に5人の生徒

が家の経済的事情で辞めざるをえませんでした。これまで遠くの中学校に通っていた学生や、進学をあきらめて働いていた村の子供たちが次々と転校や入学を希望しています。支援の輪も広まり、来期初めには全16教室の校舎が中庭を囲んでコの字型に配置される予定で、早くも当初の構想は達成しそうです。

とはいえ、学校自体は深刻な危機に直面しています。5人の専任教師が赴任したものの、1か月たってもそれ以上の教師が集まらないのです。校長は、州や市の教育長に教師派遣を掛け合いますが、バイヨン中学校のような農村部の学校には、誰も赴任したがるまいとのこと。教師5人で2学年6クラス、全科目を教える日々が続きました。現在は、交通費支給を条件に暫定的に非常勤の教師を確保していますが、校舎をつくっても教師が派遣されないという、カンボジア農村部の学校運営の難しさを身にしみて感じているところです。